

2025 年度 瀬戸蔵ミュージアム 展覧会スケジュール

2025.	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026.	1	2	3	4
企画展示室	せとでん やきものの街・瀬戸と歩んだ 120 年					瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美					新出土品展			
中央通りギャラリー	瀬戸蔵ミュージアム 20 年のあゆみ		愛知県陶磁器技能士会展			(仮称)『瀬戸町誌』発刊 110 年 -大正時代の瀬戸と印刷技術-			土の詩 -愛陶工陶芸部会展-			(仮称)天草のやきもの		
旧尾張瀬戸駅舎内	おかえりモ 754 ~ 瀬戸線時代への再現プロジェクト ~													

2025/3/15(土) - 2025/5/11(日)

休館日：4/28

中央通りギャラリー

瀬戸蔵ミュージアム 20 年のあゆみ

瀬戸蔵ミュージアムは、平成 17(2005)年 3 月 19 日の開館以来 20 年が経過しました。本展では 20 周年を記念して、現在までに企画展示室で行われた 88 回の企画展のうち一部を展示し、これまでの活動を振り返ります。

2025/5/17(土) - 2025/8/17(日)

休館日：5/26, 6/23, 7/28

中央通りギャラリー

愛知県陶磁器技能士会展

愛知県陶磁器技能士会は、昭和 56(1981)年に設立された団体で、12 名の会員のうち 10 名の作品を展示します。作品は、技能士それぞれがもつ高度な技が遺憾なく発揮されており、見るものを惹きつける魅力にあふれています。

2025/12/6(土) - 2026/3/8(日)

休館日：12/22, 12/28 ~ 1/4, 1/26, 2/24

中央通りギャラリー

土の詩 -愛陶工陶芸部会展-

愛知県陶磁器工業協同組合陶芸部会に加盟する会員による作品展です。織部や黄瀬戸、馬の目皿といった瀬戸の伝統的なやきものから、作家の創造力が活かされた作品まで幅広いジャンルの様々な作品をご覧ください。



《過去の展示風景》

2025/4/1(火) - 2026/3/31(火)

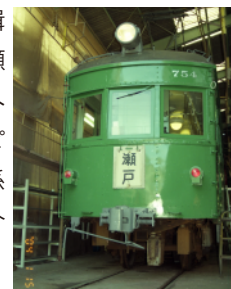
休館日：瀬戸蔵ミュージアムに準じます

旧尾張瀬戸駅舎内

おかえりモ 754

~瀬戸線時代への再現プロジェクト~

当館に展示されているせとでん車両「モ 754」が瀬戸に戻ってきた様子を、当時の写真で振り返るとともに、揖斐・谷汲線仕様から瀬戸線時代の在りし日への再現を試みたエピソードを、当時の関係者の回想をもとに紹介します。



撮影：山田司

2025/4/2(水) - 2025/8/24(日)

休館日：4/28, 5/26, 6/23, 7/28

企画展示室

瀬戸電開通 120 年記念特別企画展

せとでん やきものの街・瀬戸と歩んだ 120 年

瀬戸自動鉄道株式会社は明治 38 (1905) 年 4 月 2 日に瀬戸〜矢田間を開業しました。明治 39 年 (1906) に瀬戸〜大曾根間の電化全通を機に瀬戸電気鉄道株式会社と社名変更し、それ以降は「せとでん」と呼ばれ親しまれました。本展ではせとでん開通 120 年となるのを記念して、その歩みを振り返っていきます。



撮影：山田司

2025/8/23(土) - 2025/11/30(日)

休館日：8/25, 9/29, 10/27, 11/17

中央通りギャラリー

(仮称)『瀬戸町誌』発刊 110 年 -大正時代の瀬戸と印刷技術-

大正天皇の御大典を祝して編さんされた『瀬戸町誌』は、瀬戸における地誌の初めとなる書籍です。近年、寄贈いただいた資料に本誌掲載の写真図版を印刷するための原版が見つかりました。本展では、原版からうかがえる大正時代当時の印刷技術を紹介しします。



《写真図版の原版と『瀬戸町誌』》

2026/1/31(土) - 2026/5/10(日)

休館日：2/24, 3/23, 4 月は未定

企画展示室

新出土品展

公益財団法人瀬戸市文化振興財団は、これまでに様々な時代に営まれた遺跡や窯跡の発掘調査を実施しております。本展では、近年発掘調査を行った遺跡や窯跡などの最新の調査成果を紹介します。

2026/3/14(土) - 2026/6/14(日)

休館日：3/23, 4 月・5 月は未定

中央通りギャラリー

(仮称)天草のやきもの

熊本県天草市は、磁祖加藤民吉が修業を行った地であることから、令和 3 年 (2021)10 月 1 日には、瀬戸市との交流連携協定が締結されています。本展では天草陶磁器の島づくり協議会加盟窯元の作品を展示します。

2025/9/6(土) - 2026/1/18(日)

休館日：9/29, 10/27, 11/17, 12/22, 12/28 ~ 1/4

企画展示室

瀬戸焼 受け継がれる千年の技と美

瀬戸市は千年余のやきものの歴史と伝統を有し、日本を代表するやきものの産地です。本展では、瀬戸蔵ミュージアムと瀬戸市美術館が所蔵する 1 万点以上の作品群から選りすぐりの作品をもって、陶都千年の歴史を紹介します。

重要有形民俗文化財
《瑠璃釉瓢形蓋付壺》
三代川本治兵衛 19 世紀中期



2025/4/18(金) - 2026/4/16(木)

休館日：ノベルティ・こども創造館に準じます

ノベルティミュージアム (ノベルティ・こども創造館内)

サテライト展示

「ファンシー貯金箱」「ちいさなノベルティ」
「ハロウィン」「クリスマス」
「干支のウイスキーボトル」「宗教人形」

当館収蔵品のノベルティを年 6 回、テーマごとに

瀬戸蔵ミュージアム
SETO-GURA MUSEUM

〒489-0813 愛知県瀬戸市蔵所町 1-1
TEL 0561-97-1190
E-Mail setoguramuse@city.seto.lg.jp
URL <https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2011/03/15/00092/>

